



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年2月13日

上場会社名 株式会社 ソノコム

上場取引所 東

コード番号 7902 URL <http://www.sonocom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 清啓

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長 (氏名) 宮寺 利宗

TEL 03-3716-4101

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,768	22.7	350	57.7	413	56.6	292	22.3
29年3月期第3四半期	1,440	3.5	222	3.5	264	4.2	239	0.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	79.86	
29年3月期第3四半期	63.14	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	8,701	7,684	88.3	2,096.87
29年3月期	8,227	7,414	90.1	2,023.09

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 7,684百万円 29年3月期 7,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		7.00	7.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	17.8	390	53.4	460	25.3	320	2.2	87.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	5,000,000 株	29年3月期	5,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	1,335,036 株	29年3月期	1,335,036 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	3,664,964 株	29年3月期3Q	3,789,964 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復や雇用環境の改善が進み、緩やかな回復基調で推移しました。一方世界経済は、欧米での景気回復が持続するものの、米国の政策動向への懸念やアジアにおける地政学リスクによる不透明感等、先行きの不安定な状況が続きました。

当社が属するスクリーン印刷用製版業界におきましては、主要顧客である電子部品業界において、スマートフォンや自動車関連の各種電子部品の需要の高まりにより、堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社におきましては、営業・製造・技術が一体となり、高精度製品の安定生産、生産効率の向上に取り組んでまいりました。その結果、売上高につきましては、製品売上高16億46百万円（前年同期比 24.2%増）、商品売上高1億22百万円（前年同期比 6.4%増）となり、売上高合計17億68百万円（前年同期比 22.7%増）となりました。

利益面におきましては、売上高増加の影響により、営業利益3億50百万円（前年同期比 57.7%増）、経常利益4億13百万円（前年同期比 56.6%増）、四半期純利益2億92百万円（前年同期比 22.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①スクリーンマスク

当セグメントにおきましては、表示素子用と受動部品用の売上がそれぞれ増加したため、売上高13億51百万円（前年同期比 28.6%増）、セグメント利益4億83百万円（前年同期比 44.6%増）となりました。

②フォトマスク

当セグメントにおきましては、受動部品用の売上が増加したため、売上高2億95百万円（前年同期比 7.2%増）、セグメント利益1億40百万円（前年同期比 5.2%増）となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、印刷用資機材等の売上が増加したため、売上高1億22百万円（前年同期比 6.4%増）、セグメント利益21百万円（前年同期比 10.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して、4億73百万円増加して87億1百万円となりました。負債は、2億3百万円増加して10億16百万円となりました。純資産は、2億70百万円増加して76億84百万円となり、その結果自己資本比率は、88.3%となりました

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年11月13日に公表いたしました平成30年3月期の業績予想を修正することといたしました。詳細につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,383,091	3,286,736
受取手形及び売掛金	525,105	843,282
有価証券	97,683	144,783
商品及び製品	3,126	2,810
仕掛品	48,451	52,863
原材料及び貯蔵品	67,190	73,264
その他	63,229	64,926
流動資産合計	4,187,878	4,468,667
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	632,036	613,064
機械及び装置（純額）	92,786	95,362
土地	1,390,510	1,390,510
その他（純額）	33,791	37,651
建設仮勘定	24,950	—
有形固定資産合計	2,174,074	2,136,589
無形固定資産	3,926	16,271
投資その他の資産		
投資有価証券	1,583,754	1,682,228
その他	277,997	397,455
投資その他の資産合計	1,861,751	2,079,684
固定資産合計	4,039,753	4,232,545
資産合計	8,227,631	8,701,212
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	162,644	315,073
未払法人税等	55,398	72,745
引当金	47,177	26,562
その他	140,394	181,195
流動負債合計	405,614	595,576
固定負債		
退職給付引当金	11,796	13,978
役員退職慰労引当金	371,720	379,545
繰延税金負債	23,931	27,175
固定負債合計	407,447	420,699
負債合計	813,062	1,016,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	925,750	925,750
資本剰余金	1,405,550	1,405,550
利益剰余金	5,846,444	6,113,469
自己株式	△825,151	△825,151
株主資本合計	7,352,592	7,619,617
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,976	65,318
評価・換算差額等合計	61,976	65,318
純資産合計	7,414,569	7,684,936
負債純資産合計	8,227,631	8,701,212

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,440,958	1,768,605
売上原価	904,608	1,064,656
売上総利益	536,349	703,948
販売費及び一般管理費	313,912	353,139
営業利益	222,437	350,809
営業外収益		
受取利息	18,464	24,925
投資有価証券償還益	6,243	31,972
為替差益	11,803	3,012
その他	6,070	3,007
営業外収益合計	42,582	62,917
営業外費用		
その他	833	79
営業外費用合計	833	79
経常利益	264,186	413,647
特別利益		
受取弁済金	19,929	17,588
特別利益合計	19,929	17,588
税引前四半期純利益	284,116	431,236
法人税、住民税及び事業税	50,904	102,303
法人税等調整額	△6,104	36,252
法人税等合計	44,800	138,556
四半期純利益	239,315	292,679

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,050,894	275,272	1,326,166	114,791	1,440,958
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,050,894	275,272	1,326,166	114,791	1,440,958
セグメント利益	334,486	133,863	468,350	19,185	487,535

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	468,350
「その他」の区分の利益	19,185
全社費用（注）	△265,098
四半期損益計算書の営業利益	222,437

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	スクリーンマスク	フォトマスク	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,351,273	295,179	1,646,452	122,152	1,768,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,351,273	295,179	1,646,452	122,152	1,768,605
セグメント利益	483,750	140,866	624,616	21,185	645,802

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「スクリーン印刷用資機材」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	624,616
「その他」の区分の利益	21,185
全社費用（注）	△294,992
四半期損益計算書の営業利益	350,809

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。